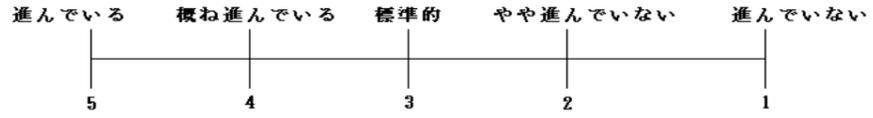


第5次江東区地域福祉活動計画 団体評価結果

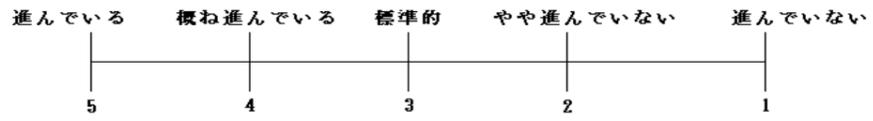
【目標評価点】



	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	目指す地域に向けた活動目標評価点	評価意見、理由など
1	I 人と地域のつながりがあるまち	① つながるきっかけを作ろう	・地域のイベントや祭などを通じて地域交流しつながります	平均点 3.78	行政・町会等の地域団体、小学校と連携して交流や地域イベントへの参加など、多様なつながりづくりを進めています。SNSを活用した情報発信や、ボランティア向け講座の実施等も効果を上げている一方で、行事が休日に集中し、施設の休業日と重なって参加が難しいケースもあります。今後は、活動の機会をより柔軟に設ける工夫が求められます。
2		② つながる場を作ろう	・団体内や近隣の団体と協力し、つながる場の提供など考えます	平均点 3.39	認知症カフェや親子ひろばなど、多様な人々が集い交流できるつながる場を地域に提供しています。地域交流スペースの開放や、防災訓練・保育体験等のイベントを通じた協働も広がりを見せています。近隣団体や福祉関係者との連携も進み、地域とのつながりが着実に深まっている一方で、災害時の連携体制や、より効果的なつながる場のあり方については、今後の検討が求められます。
3		③ つながる仕組みを活用しよう	・地域におけるさまざまな関係機関とつながりを作っていきます	平均点 3.61	子ども食堂など、地域住民や外国人とのつながりを広げ、福祉サービスの情報提供や他機関との連携も積極的に行っています。区民まつりや勉強会、会議等への参加を通じて、多様な関係機関や福祉団体との連携も進んでいる一方で、団体間での継続的なつながりづくりには課題が残っています。今後は協働の深まりと関係性の継続に向けた工夫が求められます。
4	II 支え合い、助け合いのあるまち	① 思いやりの心を育てよう	・学生ボランティアの体験場所として受け入れます ・ボランティアに参加した方に感謝の言葉をかけます	平均点 3.78	学生を含む幅広い世代のボランティアを受け入れ、若者向けの研修や職場体験、通訳支援など多様な活動を展開しています。献血会場の提供や地域活動も通じて、地域貢献にもつながっています。一方で、職員体制の不安定さや活動機会の少なさから、受け入れが難しい場面もあり、今後は安定的な受け入れ体制と継続的な関係作りが課題となっています。
5		② 地域で助け合おう	・団体が有する専門知識や経験を地域に共有します	平均点 3.39	災害スタディーやクリーンウォーク、職場体験の受け入れ、日本語支援や出前授業など、地域に専門的な知識や支援を積極的に提供しています。また、日常の声かけや相談など、日常的な交流や支え合いも実施しています。一方で、事業外での対応や地域への発信力には課題があり、今後は活動の見える化や伝え方の工夫が求められます。
6		③ 人材を育成しよう	・ボランティアを積極的に受け入れます	平均点 3.96	若者世代を中心に、幅広い年齢層のボランティアを受け入れ、育成や体験プログラム、振り返りの機会も設けるなど、継続的な人材育成に取り組んでいます。中高生の職場体験、日本語支援、イベントでの協力も進み、地域との交流が深まっています。一方で、活動機会の時期が限られ、施設事情、個人のプライバシー配慮などから、受け入れに慎重な対応が求められる場面も生じています。
7		④ ボランティアや地域貢献活動を推進しよう	・地域活動に参加・協力します ・自ら進んで地域貢献活動をします ・お互いに助け合える地域になるよう、ボランティア活動を広げていきます	平均点 3.48	区民まつりや子どもまつり、マルシェや美化キャンペーンなど地域イベントへの積極的な参加を通じて、地域とのつながりやボランティア活動の推進に努めています。献血や町会活動への協力、施設の開放等、多方面で地域貢献に携わっています。一方で、活動頻度や実施のタイミング、職員体制などの事情から、参加が難しい場面もあり、自発的な活動の促進や継続の工夫が今後の課題となっています。

第5次江東区地域福祉活動計画 団体評価結果

【目標評価点】



	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	目指す地域に向けた活動目標評価点	評価意見、理由など
8	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち	① 安心して暮らせる環境を整えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・団体同士連携・協働して取り組む体制づくりを進めます ・社協の取組みを理解し紹介します ・団体・企業・行政・社協などと連携し地域のネットワーク構築に努めます 	平均点 3.30	行政や企業・団体と連携し、清掃活動や募金活動、被災地支援、救命講習など多様なプログラムを実施。AED設置やこども110番登録など安全対策も進めています。共同募金やボランティアまつりへの参加を通じて地域貢献を推進しています。一方で、地域団体とのつながり不足や情報共有の難しさ、人的・時間的制約が課題であり、今後は連携強化と地域への働きかけをさらに深める必要があります。
9		② 一人ひとりの権利を尊重しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター講習を受け理解を広げます ・積極的に行政に少数者の声を届けます ・支援の際は本人の意思を尊重することを旨します 	平均点 3.45	認知症サポーター講習や子ども食堂、高齢者の仲間づくりなどを通じた見守り活動に取り組み、個人の意思を尊重する支援や権利擁護の姿勢を示しています。また、多様性理解に向けた社内教育や「やさしい日本語」講習会、外国人職員の受け入れなど、共生社会に向けた実践も進めている一方で、支援の機会が限られている場合もあり、継続的な啓発機会の提供と交流の場づくりが今後の課題です。
10		③ 地域福祉の基盤を整備しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる分野の団体、個人、専門家と連携を強化し、情報を共有発信していきます 	平均点 3.00	福祉分野を中心に、地域団体や他分野の専門家との連携、情報交換を行い、社会貢献への意欲を高め、活躍の場づくりにも意識を向けています。クリーン活動をはじめ、オンライン会議への参加など、可能な範囲で地域に関わっている一方で、時間的制約や他分野とのつながりの弱さが課題であり、今後は参加機会の拡充や、より柔軟で持続可能な連携の仕組みづくりが必要です。